

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	私達がこれで良いかもしれないと思ってしていたケアでも本人には苦痛な思いをさせている場合もある為、一人一人の思いをくみ取りながらケアに努めなければならない。	個々にあわせた、声掛けやケアに努め利用者様の尊厳や羞恥心に配慮したい。	利用者一人一人の事をスタッフ全体で初心にかえり、よく知り、よく観察する。そこからその方の思いに気づきどのような声掛けをしたら良いかなどを見出し、尊厳やプライバシーを損ねない言葉掛けやケアに努める。	3か月
2	35	・消火器の配置場所が行動の妨げとなっている。 ・火災、地震、災害時の対策、取り組みを再確認する。	・消火器が入居者の行動の妨げになる場所に配置されて居るため場所を考慮する。 ・災害時、あらゆる想定をした場合に備え対応策 を考えいざという時に万全体制を整える。	・消防機関と安全面を話し合い消防設備の場所決定をする。 ・災害時停電、断水の想定で、寒冷時期、温暖時期に一日通し訓練してみる。その中で必要物品や整備しなければならない点を見出しマニュアル化し、緊急時に備える。	6か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。